

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成 24 年度事業報告及び決算報告

I 平成 24 年度事業報告

【特定非営利活動に係る事業】

1. 住民活動支援事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 24 年 4 月～平成 25 月 3 月

内 容：岩船地域内における住民活動に関する各種支援（相談・仲介・情報提供等）の実施。

【事業実績】

朝日道の駅みどりの里内にある「グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）」にて、活動相談、情報提供、会議室の貸し出し、各種問合せ対応などの住民活動支援を実施。

【センター利用者数について】

24 年度のセンター利用者数は、581 件（前年比 +7）／810 人（前年比 +55）であった。

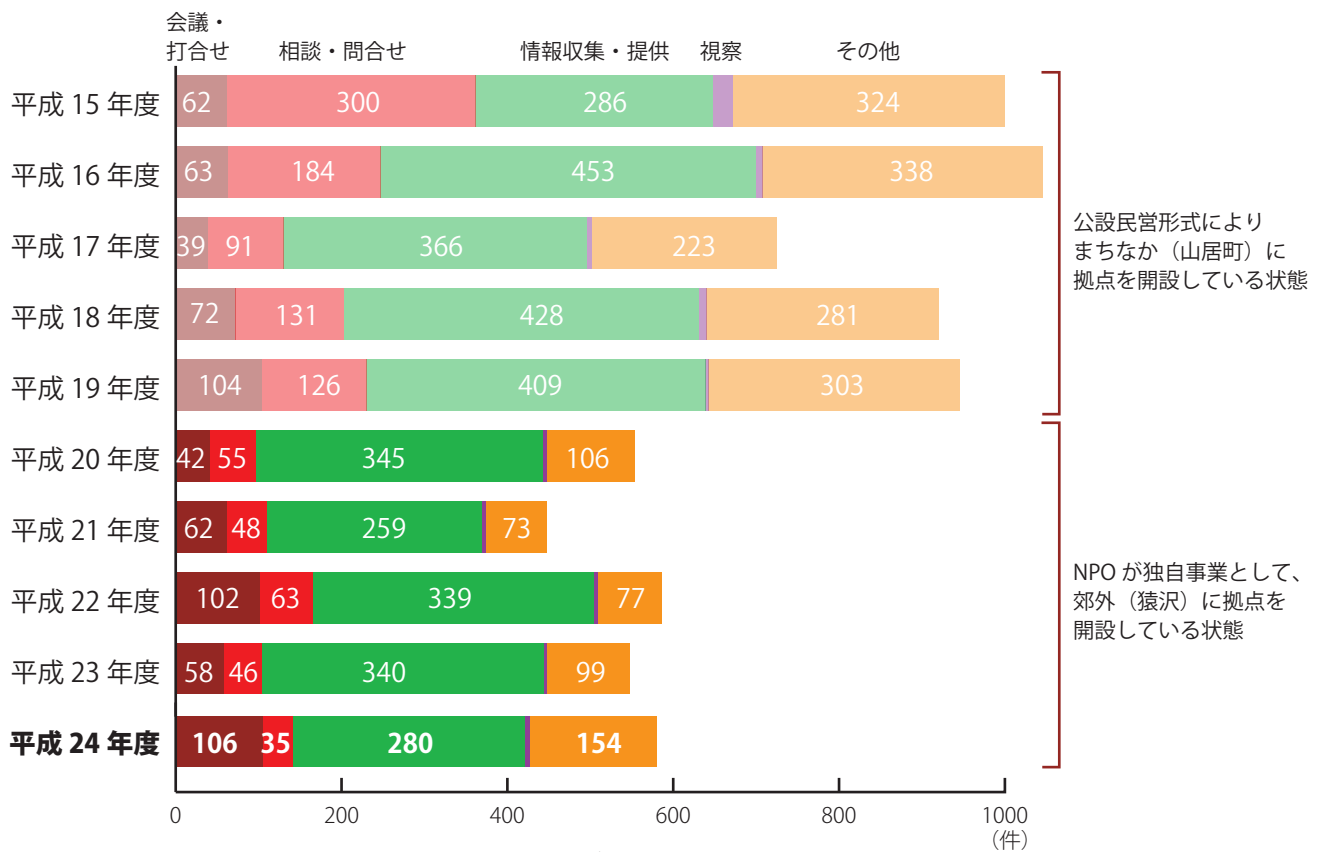


図 都岐沙羅パートナーズセンターの利用件数の推移

<利用件数の前年度との比較>

- 会議・打合せ →前年に比べ増加
- 相談・問い合わせ →過去最低だった昨年度を更に下回る
- 情報収集・提供 →前年度より約 2 割減少
- その他 →前年比で 5 割増加

◎「相談・問い合わせ」の減少は、地域内における中間支援組織としての求心力低下を顕著に示していることから、抜本的な見直しが急務である。

2. コミュニティビジネス支援

24年度事業においては、財源確保ができなかったこともあり、直接的なコミュニティビジネス支援は実施せず。

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

1) 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局の運営（自主事業）

朝日みどりの里にある朝日グリーン・ツーリズム推進施設（旧バイオテクノロジー研究施設）にて、官民協働で設立した「村上地域グリーン・ツーリズム協議会」の事務局を運営。各種会議の連絡調整・対外的な連絡窓口を担った。

（実施内容）

- 総会、幹事会、ワーキングチーム会議の運営
- 協議会の事務・経理作業

2) 村上グリーン・ツーリズム協議会事業の実施（自主事業）

村上地域グリーン・ツーリズム協議会の平成24年度事業について、全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。

【実施内容】

（1）協議会自主事業

①地域資源を活用した着地商品化の企画提案商談会

日時	平成24年7月3日
場所	新潟市
内容	バス会社3社の担当者にグリーン・ツーリズムメニューの資源を活用した旅行企画のプレゼンを行った。



②首都圏の企業、NPOとの情報交換とイベントの実施の連携打ち合わせ

日時	平成24年11月5日
場所	銀座ノバレーゼ、NPO 法人日本エコツーリズムセンター、株式会社ユーズ（東京油田）
内容	<ul style="list-style-type: none">・山北地区で行われているノバレーゼのCSR活動の今後の活動と首都圏イベント開催について協議。・日本エコツーリズムセンターが行っているエコツーリズムの現状について情報交換。・(株)ユーズが行っている事業や首都圏イベントについて協議、情報収集。

③平成 24 年度新潟県グリーンツーリズム新潟県大会の視察

※平成 25 年度に村上地域開催のための視察、研修を行った。

日 時 平成 24 年 10 月 16 日～ 17 日

場 所 佐渡市

内 容 < 1 日目 >

基調講演、事例発表、パネ
ルディスカッション、交流会

< 2 日目 >

各種体験（朱鷺と生きた
佐渡の桃源郷 朱鷺の里ハイキング）



④岐阜県長良川おんぱくの視察研修

日 時 平成 24 年 11 月 26 日～ 27 日

場 所 岐阜県岐阜市

内 容 長良川おんぱく（岐阜の町の魅力を発掘し、約 100 のプログラムを体験・交流しあう見本市）の仕組みや運営方法のヒアリング、実際に行われているイベントに参加（若旦那めぐり）

⑤体験交流によるまちづくり～教育旅行を誘致するためには～・講演会開催

日 時 平成 25 年 1 月 21 日 15：00～

場 所 関川村 村民会館会議室

参加者 スノーシュー 18 名、講演会 23 名、懇親会 14 名

内 容

- ・講演会前に実地研修として鷹ノ巣キャンプ場においてスノーシュー体験を開催（1 時間のコースを実際に歩いた）。
- ・講演会は上記の演題で自然体験学校の若林伸一様に修学旅行の現状や、旅行会社の動向などをお話し頂き、修学旅行の受け入れメリット、受け入れ方法と人材育成の重要性をお話し頂いた。



【成 果】 24 年度は誘客宣伝・プロモーション活動を展開しつつも、当地域のグリーン・ツーリズム推進における次の展開を模索するために研修等も積極的に実施。その結果、教育旅行誘致については、「安全管理」という面での人材育成にもっと積極的に取り組む必要があることが判明した。

(2) 食を活かしてふるさと満喫事業（補助事業：新潟県）

①地域戦略プランの検討・作成

・プランの作成

- 地域食材の拾い出し（山北地区で1月に提供できる物）
- 地域食材の試作品に使える物の選定
- ・試験イベントの実施
 - 平成25年1月2～3日に、上記食材を使い新潟モノリスが正月ビュッフェメニューとして提供。当日は人・食マップとして作成したパネル展示も実施。
 - 2日間で200名を越える来場者があった。（前年開催から倍増）



②地域食材を活かしたプログラム開発・誘客実験の実施

- ・村上食の講座を（株）ユーズが運営する「東京油田」を会場に開催。
 - もちもちバイキング（三田敏志）／山の恵み保存食を学ぶ（村山優子）／どぶろく・村上地酒学（鈴木信之）の3講座を開催。
 - 販売スペースにおいては、まんまスティック、赤カブ漬け、山菜漬け、原木椎茸の鮭加工品の販売を行った。
- ・おいしさ満喫ツーリズムの企画・PR
- ・人・食のマップ作成
 - 食のポスター・マップをA2サイズで13部作成し、イーゼルでパネルの展示を行った。



【成 果】 地域外の民間企業と連携し、村上地域の食材を前面に出したプロモーション活動を展開した結果、継続的な連携・協働の足がかりをつくることが出来た。今後は、誘客に向けた取り組みへとステップアップしていくことが課題である。

3) 村上地域グリーン・ツーリズム地域内受入実験事業（委託事業：県村上地域振興局）

村上地域において、子どもの農山漁村生活体験の受け入れ体制の整備及び体験プログラムの拡充を推進するため、粟島浦村にて受入実験を実施。

【開催時期】 平成24年7月7日～平成24年7月8日

【開催場所】 粟島浦村

【概 要】 「粟島子ども体験プログラム粟島モニターツアー」として、干物作り・漁師作業体験・穴釣り仕掛け作り・穴釣り体験・郷土料理体験を実施。

【参加者数】 子ども 11 名／大人 5 名



【成 果】 既存プログラム及び新規プログラムの実験実施を通じて、村内での受入体制の強化を図ることができた。参加者の反応も非常に良好であり、今後の本格実施に向けて弾みとなった。また、新規プログラムについては、いくつかの課題も抽出され次につながる良い機会となった。

4) 村上岩船地域・地域資源活用調査事業 (委託事業：県村上地域振興局)

村上岩船地域のグリーン・ツーリズムをより活性化するため、地域の隠れた資源を調査し、多様な体験プログラム作りの基礎資料とするため、地域資源を活用した体験ツアーを企画・運営。

【開催実績】 平成 24 年 11 月 17 日 (土)

【開催場所】 村上市杉平、荒川口 (山北地区)

【概 要】 木材コンビナート見学・間伐、薪割、木工体験

【参加者数】 6 名 (地域内 1 名、県内 2 名、県外 3 名)



【成 果】 体験ツアーとして工場見学は初めての試みであったが、参加者からは大変好評であった。また、間伐、木工体験など山、環境については関心ある方は増えていると思われる。この地域の使われていない素材をもっと活用することで、多様なプログラムが開発できる事を検証できた。

5) 朝日まほろば夢農園管理事業 (委託事業: 村上市/朝日まほろば夢農園管理組合)

都市住民との交流促進を目的に、村上市が朝日みどりの里内に開設した貸し農園(クラインガルテン)について、その管理運営を支援。

【実施期間】 平成24年4月～平成25年3月

- 【実施概要】
- ①農園の使用者及び組合員への広報業務
→夢農園プレス(11回発行)/ホームページの更新
 - ②農園使用者及び組合員の交流企画
→年6回イベントを企画・コーディネート
 - ・開園式
 - ・山菜料理を楽しむ会
 - ・納涼祭
 - ・視察研修
 - ・収穫祭
 - ・味噌づくり体験
 - ・栽培講習会
 - ③夢農園事務局業務(窓口・経理・イベント業務)



【成果】 夢農園年間利用者数: 465人/交流イベントの参加者: 延べ183人

6) 地域資源活用推進事業～来てみて、食べて、村上・岩船まるごとプランづくり～ (委託事業: 県村上地域振興局)

【事業期間】 平成24年6月～平成25年1月

【事業概要】 村上・岩船地域内の温泉旅館及び観光地等を会場として、村上・岩船地域の特産品や地元食材を使った料理等の地域資源を観光客に紹介するイベントの企画及び集客力向上に向けた宿泊パック化を観光関係者と連携して実施。

- 【開催実績】
- 07/06 笹川流れの海の幸を味わう(ランチ)
 - 09/22 漁港岩船の地魚料理を味わう(夜学)
 - 10/10 普濟寺庭園を眺めながら精進料理を楽しむ(ランチ)
 - 10/21 村上・岩船ならではの『ご飯のお伴』(ランチ)
 - 11/17 むらかみ地酒談義(夜学)
 - 12/01 芭蕉とお茶料理を味わう(夜学)

【成果】 ランチはほぼ定員に達し地域外からの参加者が多かった。夜学については定員割れの会もあり告知方法の検討が必要となった。宿泊プランの利用については、昨年度より増加した。バイキング方式の『ご飯のお伴』は初めての試

みであったが、大変好評であった。



7) 新潟・食と花の交流プログラムの推進 (自主事業)

平成 21 年度から実施している新潟市でのプロモーションプログラム「おとなの夜学」を継続して実施。

【実施概要】 村上圏域の豊かな地域資源を紹介し地域への集客の向上を図るため、新潟市のふるさと村において生産者自らが解説しながら、地元食材をつかった料理ランチプログラムとして提供。

【開催日時】 平成 24 年 6 月 17 日 (日) 12:00 ~ 13:00

【開催場所】 新潟ふるさと村「ふるさと越後の家」

【開催概要】 テーマ：養蚕農家の桑の葉料理 (ゲスト：横井栄子さん)

【参加者数】 17 名

※ 同時開催：森のえんぴつづくり体験 (参加者 35 名)



【成 果】 今回は「県北の観光と物産展」のPRも含めたプロモーション活動として開催した。料理の素材としてはめずらしい物だったので、集客に苦労したが、来ていただいた方には大変喜ばれ、また関心を持って頂いた。

8) トキ × ミツバチ応援プロジェクト (事業参画/食と地域の交流促進対策交付金事業)

【事業期間】 平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月

【事業概要】 東京銀座と新潟・村上・佐渡の3地域が連携して都市農村交流を推進する「トキ × ミツバチ応援プロジェクト」において、首都圏の消費者が祇園座で

新潟（新潟市、佐渡市、村上市）の農家と出会い、交流し、直接つながる（農産物の直接購入や援農を含めたコミュニティを複数構築する）ための交流プログラムの開発、情報提供システム整備を実施した。

【開催実績】 ①新潟の食の魅力を発信するセミナー「銀座新潟塾」の開催

日 時：平成 25 年 1 月 30 日（水）19～21 時

会 場：銀座紙パルプ会館

参加者：51 名

ゲスト：6 名（村上市 4 名、新潟市 2 名）

内 容：講座→ワールドカフェ→情報交換会→試食会



②プロモーション活動

<はさ掛けのディスプレイ>

内 容：銀座に「はさがけ」を設置し、村上の食の風景を PR。

設置期間：平成 24 年 9 月 7 日～10 月 1 日

設置場所：銀座紙パルプ会館前

<ファームエイド銀座への出展>

内 容：村上地域の食材を使った講座、試食会を開催し村上の食の魅力を発信プロモーション活動を実施。

開催実績：卵のちょっといい話（9/17 開催・参加者 45 名）

鮭とごはんのお伴 & 雑穀を学ぶ（11/4 開催・参加者 62 名）



③生産地訪問ツアーの企画、開催

内 容：新潟の生産現場を訪問し現地見学・体験を通じて生産者との交流を深めるツアーを企画・開催。

開催実績：平成 25 年 12 月 8 日～9 日／参加者 7 名



【成 果】 はさ掛けは週刊誌にも掲載され、銀座の風物詩になりつつある。銀座新潟塾には予想を超える参加申込みがあり、定員を増やし対応した。今後も継続して発信できれば現地に来ていただく方も増加すると感じた。



9) つきさらカントリーカレッジ設立事業 (事業参画/食と地域の交流促進対策交付金事業)

【事業期間】 平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月

【事業概要】 体験から一步暮らしに踏み込んだプログラムの構築を目指し、様々な学びの場である「カレッジ」の開校に向け、実験プログラムや研修会を開催する。

【開催実績】 ①実験プログラムの開催

「塩職人に学ぶ天然塩の解説」

<内 容> 職人による解説を聞くプログラムとして、塩工房内の見学やあまり知られていない塩の話を知る。

<講 師> ミネラル工房 代表 富樫秀一さん

<開催日> 8月31日(金)

<参加者> 1名



「現代の暮らしに生きる漆工芸解説」

<内 容> 職人による解説を聞くプログラムとして、漆工芸の作業の流れや特徴、地域によつての違いなどを知る。

<講 師> URUSHI OHTAKI 大滝豊さん

<開催日> 8月29日(水)・31日(金)・9月5日(水)

<参加者> 3名



「あんぽ柿づくりプログラム」

<内 容> 柿の収穫作業から、あんぽ柿をつくるまでの一連の作

業を講師の手ほどきで実際に体験。

- <講 師> 齋藤甚吉さん・海沼順一さん
<開催日> 11月3日(土)・11月13日(火)
<参加者> 9名



②研修会の開催(2回)

●産業づくりと学びの場づくりの連携～岡山県真庭のバイオマスツアー～

- <講 師> 農山村支援センター 副代表 渋谷寿一さん
<開催日> 平成24年9月6日(月)
<参加者> 24名

●地域の資源をとことん利用し学ぶ

- <講 師> ハーブランドシーズン 代表 永嶋節子さん
<開催日> 平成24年12月10日(月)
<参加者> 18名



【成 果】 実験プログラムを通じて、プログラムの課題・ブラッシュアップを実施。確実にニーズがあること、細かな改善点はあるものの、「商品」としての力量が十分に備わっていることが確認できた。次年度より、本格展開していくための確かな足がかりができた。

10) 観光資源活用トータルプラン(委託事業/村上市観光協会)

【事業期間】 平成24年6月～平成25年3月

【概 要】 訪れた観光客に地域内の体験だけではなく「生業」「伝統・文化」の背景にある物語に触れてもらい、この地への共感や新たな交流を生み出す事を目的に、来訪者に提供できる仕組みの構築を目指す。

【開催実績】 ①既存のプログラムの整理と把握
→地域内の47の個人・団体へプログラムシート記入の依頼
②観光プログラム先進地への視察

→岐阜県の長良川で実施されている「長良川おんぱく」の視察研修を実施。
→事務局の作業内容のヒアリングや実際におんぱくを体験。



【成 果】 地域内における体験プログラムの現状調査を、多様な団体（社会教育・スポーツ分野の団体まで）対象を広げて実施。観光資源となり得る新たなプログラムが複数発掘された。また、2年後に開催する予定のキャンペーンイベントに向けて、長良川オンパクの視察研修を行った結果、具体的な受入システムの方向性が見えてきた。

11) 酒蔵ツーリズム創造に向けた地域における推進方法に関する調査業務

(委託事業：国交省北陸信越運輸局／株式会社第一印刷所)

【事業期間】 平成 25 年 1 月～平成 25 年 3 月

【概 要】 酒蔵ツーリズム創造のために酒蔵と地域における観光資源とストーリー性をもって連携し、自らの地域の魅力を広く発信していくことが重要であるため、全国一の酒蔵数を誇る新潟県の地域において、現状と課題について整理を行い、推進方法について検討を行うための調査業務と地元の調整を行った。

【開催実績】 ①酒蔵及び酒蔵に関する施設、観光資源等の整理

②マーケティングの実施

③検討会議の開催（2回）

第1回検討会（H25.2.8 /村上市教育情報センター）

第2回検討会（H25.3.11 /村上市教育情報センター）

【成 果】 ツーリズムを開催する上で村上には酒にまつわる観光資源を活かした素地は十分にあるが体制、組織がない、情報共有が十分でないなどの課題が浮き彫りとなった。今後の開催に向けて中心となって推進する体制・組織を育成することの必要性があげられた。



4. 地域づくり事業のコーディネート

1) 学校と地域を結ぶオープンセッション（事業協力：村上市教育委員会）

【概要】 学校と地域の様々な知識や技能を持った人々が、情報交換することにより地域みんなで子供達を育てる体制づくりを目指す事を目的に、学校関係者と地域の方々が一同に会し情報交換を行う。

【開催実績】 平成 24 年 8 月 2 日 13:30～16:30
村上市総合文化会館・公民館ホール

<内容>

- ・活動事例紹介『神納中学校とNPO法人希楽々との連携の取り組み』
- ・グループトーク『学校と地域で連携してやってみたいこと』
- ・情報交換会（フリートーク）
- ・参加者 95 名（先生 56 名、地域 39 名）



【成果】 平成 23 年度で地域活動体験コーディネーター事業が終了し、県費での事業から村上市単独事業となった。郷育会議との連携で地域と学校が情報交換の場所として定着した。またNPO同士が連携して学校とつながった事例も生まれた。

2) たかねまちづくり協議会・活動支援（委託：たかねまちづくり協議会）

【事業期間】 平成 24 年 4 月～12 月

【概要】 協議会で企画している「まち歩き」イベントについて、その企画及び実施に対してのアドバイス業務。

【開催実績】 ①地域のお宝再発見事業実行委員会へのオブザーバー出席（5 回）
②たかねまちあるき大作戦の運営支援（平成 24 年 8 月 3 日開催）

【成果】 協議会として初めての事業であったが、大成功に終えることができた。この経験を踏まえ、後日、別地区でのまち歩きが自主的に企画・実施されており、初動期の支援としては十分に効果を上げられた。



3) あらかわ地区まちづくり協議会・活動支援 (委託: あらかわ地区まちづくり協議会)

【事業期間】 平成24年4月～平成25年2月

【概要】 ①協議会の24年度事業について、事業部会において具体的な内容を詰めるための研修会の開催。
②荒川総合運動公園の有効活用を考えるワークショップの企画・運営支援。

【開催実績】 ①事業部会メンバーへの研修会(3回)
②荒川総合運動公園有効活用検討ワークショップ
・ワークショップ(2回) / 事業部会での行動計画検討(2回)



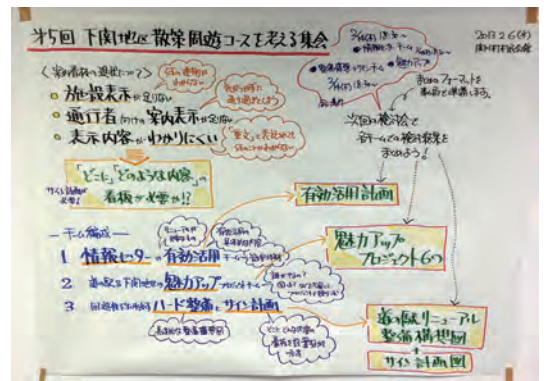
【成果】 24年度事業について、漠然としていた想いを具体的な事業計画にまとめるために、実習中心の研修会を開催し、2つの具体事業が明確に定められた。そのうちの1つが総合運動公園の有効活用であり、具体的な有効活用計画を検討するワークショップを開催したところ、事業部会以外の住民の参加も多く、荒川地区における新たなまちづくりが動き始めた。

4) 越後下関地区散策周遊コース整備事業 (委託: 県村上地域振興局)

【事業期間】 平成24年11月～平成25年3月

【概要】 関川村において、渡辺邸などの重要文化財が集積する越後下関地区と、隣接する道の駅との連携を促し、観光客等の周遊性を生み出すために、関係する住民・各種団体による検討会の開催を支援。また検討結果を提言書としてまとめる。

【開催実績】 「下関地区散策周遊コースを考える集会」運営支援(6回)



【成果】 単なる要望ではなく、住民・民間側でアクションを起こす内容等を踏まえたソフト・ハード両面の具体的な提言書をまとめあげることができた。

5) 庄内・村上岩船地域広域連携推進会議 (事業協力：山形県庄内総合支所・新潟県村上地域振興局)

【期 間】 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月

【概 要】 隣接する山形県庄内地方と村上岩船地域との地域連携を推進するための事業実施。両地域の行政・NPO等で協議会を組織し、具体的な連携事業を実施。当センターは協議会の村上側の事務局として実施した全事業の企画・調整・コーディネートを担当した。

【開催実績】 ①鶴岡市の山王商店街ナイトバザール参加コーディネート (3回)

②ふるさとの観光と大物産まつり参加コーディネート

(開催日) 平成 24 年 10 月 27～28 日

(会 場) 村上市ふれあいセンター

(内 容) 庄内から3団体が出店し物産販売を実施。また、庄内地方のPRとして、芋煮 400 食をふるまった。



③パンフレット増刷

・内容を修正し、新たに 3,000 部を印刷。

④庄内山王新酒まつりコーディネート

(開催日) 平成 25 年 1 月 26 日

(会 場) 山王商店街

(内 容) 村上地域のPRとして、村上より塩引き鮭を持ち込み展示。鮭汁を 200 食ふるまった。また、工藤達朗氏による酒談義の開催、物産販売 (1 事業者) も実施した。



⑤よみがえりのレシピ上映会&庄内地域在来作物・特産品の紹介と試食会

(開催日) 平成 25 年 2 月 20 日

(会 場) 村上市ふれあいセンター

(参加者) 31 名



⑥情報交換会 & フェイスブック講座

(開催日) 平成 25 年 3 月 12 日

(会 場) 鼠ヶ関青少年海洋センター

(内 容) 両地域の活動に関する情報交換会（ファシリテーター長尾彰氏）とフェイスブックに関する講座を実施。



【成 果】 両地域の人的交流が定着化しつつあり、民間レベルにおいては着実に連携・協力の下地が築かれつつある。

その一方で、昨年度検討したツアーについては、事業費を提供している両県の考え方に相違が生じたため、あえなく中止となった。長年の取り組みによる蓄積が、行政の思惑だけで突然方向転換してしまうという事態が生じてしまったことは、非常に大きな問題である。

6) 新しい公共支援事業（事業協力：新しい公共にいがた会議）

(1) 出前相談コーディネート

【概 要】 地域内の公益的な活動をしている団体へ悩み事などを解決するきっかけとして無料で専門家を派遣する出前相談開催にあたり、専門家と団体を繋ぐコーディネート業務を実施。

【実施実績】 コーディネート団体：5 団体

○ NPO 法人希楽々

開催日：1 月 22 日（火） 専門家：吉崎利生さん

○ 館腰地区まちづくり協議会

開催日：1 月 21 日（月）／ 3 月 26 日（火） 専門家：金子洋二さん

○ 三面地域まちづくり協議会

開催日：1 月 24 日（木） 専門家：佐藤修さん

○ 塩野町地域まちづくり協議会

開催日：2 月 9 日（土） 専門家：寺島義雄さん

○ たかねまちづくり協議会

開催日：2 月 16 日（土） 専門家：春日俊雄さん

- 【成 果】 事前に各団体へヒアリングに伺い、現在の組織状況や悩み事、相談したい内容の整理などを事前準備として行った上で、専門家とのマッチング・相談の実施を行った。その結果、非常に満足度の高い専門家派遣事業にすることができた。



(2) まちカフェ (地域内のまちづくり協議会・NPO等の意見・情報交換会)

- 【概 要】 村上岩船地域のまちづくりについて、まちづくりに興味がある方が参加し、これからのまちづくりについて気軽に楽しく語り合おうというワークショップを実施。

本事業は、一般社団法人いわふね青年会議所との協働事業として、企画から運営まで両方で役割分担しながら実施した。

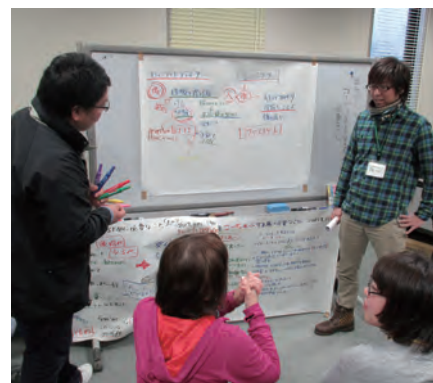
- 【開催実績】 第1回：平成24年10月27日(土) 参加者62名
第2回：平成25年3月9日(土) 参加者59名

※ 第2回開催に向けたファシリテーター研修会

(開催日) 平成25年2月11日

(会 場) 村上市教育情報センター

(参加者) 40名



- 【成 果】 一般社団法人いわふね青年会議所との連携により、お互いの得意分野が活かされ、質の高い協働ができた。幅広い年齢層(20～70代)からの参加があり、参加者の職種・立場もバラエティに富んでいる意見交換会というのは、そうそうない。

また、村上市内のまちづくり協議会とNPOが一堂に会し、意見交換を行うというスタイルを本事業によって確立できた。

7) 地域づくりサポートマッチング事業 (事業協力：新潟県NPO・地域づくり支援センター)

- 【期 間】 平成24年10月～平成25年2月

- 【概要】 山辺里地区まちづくり協議会が計画している事業に対して、具体的な進め方等についてのアドバイザー業務。
- 【開催実績】 協議会事務局との打合せ・相談
(6回)
- 【成果】 部会で出された意見を踏まえ、どのように事業を組み立てていけばよいかという点についての相談対応が中心であったが、しっかりと計画を練った上での取り組みが実施され、今後の展開が非常に楽しみな成果を残すことができた。

5. 商品開発支援

1) 村上逸品発掘交流会事業 (委託事業：村上市地産地消推進協議会／村上市)

- 【概要】 農商工連携による新商品・新サービス開発、販路拡大のきっかけづくりを目的に、地域内外の農商工関係者が集まり、実際の産物・製品を見ながら参加者同士で情報・意見交換会・品評会を実施。

- 【開催実績】 平成 25 年 2 月 20 日 (木) 参加者：51 名 出品団体：7 団体



- 【成果】 出品応募者が自発的に出てくるようになり、バラエティ豊かな産物が出揃った。初めて出品されるものもあり、まさに地域内の逸品発掘である。実際に販売に携わる講師を呼ぶことにより、出品者へ対する直接のアドバイスは貴重なヒントとなり、今後の商品開発、販路拡大へと繋がるものだった。

6. 情報受発信事業

1) つきさらパートナーズプレスの発行 (自主事業)

- 【概要】 中間支援組織としての当団体の活動周知を目的に、毎月広報紙を発行する。

- 【実績】 発行回数：4回
発行時期：H24年4月／H25年1月からは毎月
発行部数：H25年1月より1,000部

2) 週末観光情報の編集・情報提供 (自主事業)

- 【概要】 週末に村上岩船地域内に訪れる観光客を対象にした情報発信ツールとして、「週末観光情報」を作成し、地域内の観光施設や道の駅等に掲示してもらう。(データを毎週木曜日に配信し、各所でプリントアウトの上、掲示してもらっている)

【実績】 発行回数：52回
配信先：24カ所

(配信先内訳) 江戸庄／夕日会館／朝日みどりの里／県農業改良普及センター／村上地域振興局地域振興課／関川村農林観光課／瀬波温泉旅館組合／村上市観光協会／吉田や／大和屋／ホテル瀬波観光／大観荘／汐美荘／静雲荘／ニューハートピア新潟／大清／瀬波ビューホテル／はぎのや／盤舟／村上市商工観光課／角長／イヨボヤ会館／村上市民ふれあいセンター／神林道の駅

7. 各種講座・研修会の開催・コーディネート

まちカフェ開催に向けて、ファシリテーター研修会を開催。(p 17 参照)

8. 講師派遣・視察受入

1) 講師派遣

新しい公共支援事業(新しい公共にいがた会議／新潟県)において開催された「NPO・地域づくり団体のための組織運営講座・基礎力アップ編(地縁型)」に、講師として斎藤事務局長を派遣。

【派遣実績】 平成24年9月23日／9月30日(会場：新潟市)
平成24年12月1日／12月8日(会場：長岡市)

2) 視察受入

24年度の視察等の受入実績は以下のとおり。

	受入日	訪問者	人数	備考
1	H24.06.21	一般社団法人 環境パートナーシップ会議	3	有償受入
2	H24.07.04	福島県伊達市議会・志政クラブ	7	有償受入
3	H24.08.21	妙高市・妙高市民活動支援センター	4	有償受入
4	H24.11.08	新潟大学学生	1	ヒアリング対応
5	H24.11.12	三菱UFJリサーチ&コンサルティング・国土交通省 国土政策局	4	ヒアリング対応
6	H24.12.14	一般財団法人 農村開発企画委員会	1	有償受入
7	H25.01.11	一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会	4	有償受入
8	H25.01.17	国土交通省・北陸地方整備局	2	ヒアリング対応
9	H25.03.06	グリーンシグマ	2	ヒアリング対応
10	H25.03.12	豊田市役所 総合企画部 企画課	1	有償受入

9. その他

1) 東日本大震災復興支援(自主事業)

東日本大震災で被災した地域(岩手県沿岸部)について、現地の状況を把握するためにNGO等が主催する情報交換会に出席したり、現地の中間支援組織等と情報交換を行った。

【その他事業】

1. 物販事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成 24 年 4 月～平成 25 月 3 月

内 容：NPO 法人まちづくり学校が発行したまちづくりテキストブック「マチダス 2011」の委託販売を実施。

【NPO 法人の運営】

1. 理事・事務局スタッフの活動

1) 講演・講師 (13 件)

- H24/11/15 第四銀行岩船支店・四交会講演 (斎藤事務局長)
- H24/12/07 中小企業大学校三条校 能力開発コース CB 研修 (大滝理事)
- H24/12/15 第 1 回地域での仕事おこし講座 (長岡市) 講師 (大滝理事)
- H25/01/12 H24 地域コミュニティ活性化支援事業 (佐渡市) 講師派遣 (大滝理事)
- H25/01/19 第 2 回地域での仕事おこし講座 (長岡市) 講師 (大滝理事)
- H25/01/22 新しい公共支援事業出前相談 / 小国 MTN サポート (大滝理事)
- H25/01/29 村上職業訓練校・講師 (斎藤事務局長)
- H25/02/01 第 3 回地域での仕事おこし講座 (長岡市) 講師 (大滝理事)
- H25/02/28 紫波町まちづくりコーディネーター養成講座・講師 (斎藤事務局長)
- H25/03/02-03 宮古市田老まちづくりコーディネーター養成講座・講師 (斎藤事務局長)
- H25/03/15 (社) 研究産業・産業技術振興協会シンポジウム・講演 (斎藤事務局長)
- H25/03/16 第 4 回地域での仕事おこし講座 (長岡市) 講師 (大滝理事)
- H25/03/23 十日町市協働のまちづくり基調講演 + パネルディスカッション (大滝理事)

2) 委員会・会議出席 (29 件)

- H24/05/07 村上市観光協会・総会 (斎藤事務局長)
- H24/05/15 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤事務局長)
- H24/05/25 村上市・新潟 DC 意見交換会 (斎藤事務局長)
- H24/05/29 村上市男女共同参画計画策定委員会 (村山副理事長)
- H24/05/29 村上市社会福祉協議会・評議員会 (和田理事)
- H24/06/04 新潟県新しい公共支援事業・企画委員会 (斎藤事務局長)
- H24/06/13 村上地域グリーン・ツーリズム協議会・幹事会 (斎藤事務局長、他 2 名)
- H24/06/13 庄内・村上岩船広域連携推進会議・総会 (斎藤事務局長、鈴木)
- H24/06/22 中間支援組織スタッフ研修会 (斎藤事務局長、鈴木、佐藤、高橋緑)
- H24/06/29 村上地域グリーン・ツーリズム協議会・総会 (斎藤事務局長、他 2 名)
- H24/07/17 新しい公共支援事業・ポータルサイト検討委員会 (斎藤事務局長、佐藤)
- H24/07/18 村上市・新潟 DC 推進協議会 (斎藤事務局長)
- H24/07/26 村上市観光協会・企画開発委員会 (斎藤事務局長)
- H24/08/09 村上市男女共同参画計画策定委員会 (村山副理事長)
- H24/08/21 (株) ノバレーゼ CSR 支援 (斎藤事務局長、鈴木)
- H24/08/24 村上市・新潟 DC 推進協議会 (斎藤事務局長)
- H24/08/28 村上地域食育ネットワーク会議 (村山副理事長)

- H24/09/04 新しい公共支援事業・ポータルサイト検討委員会（斎藤事務局長、佐藤）
- H24/09/17 あらかわ地区まちづくり協議会・助成事業審査会（斎藤事務局長）
- H24/09/24 新潟 NPO 基金説明会（斎藤事務局長、鈴木）
- H24/10/22 村上市男女共同参画計画策定委員会（村山副理事長）
- H24/10/28 村上地域食育ネットワーク会議（村山副理事長）
- H24/11/26 村上市産業等の活性化事業審査委員会（忠理事長）
- H24/11/26 村上市男女共同参画計画策定委員会（村山副理事長）
- H24/12/05 村上市観光協会・観光資源活用 TP 特別委員会（斎藤事務局長、他 2 名）
- H24/12/21 村上市・新潟 DC 推進協議会（斎藤事務局長）
- H25/02/01 新しい公共支援事業・ポータルサイト検討委員会（佐藤）
- H25/02/06 村上地域食育ネットワーク会議（村山副理事長）
- H25/03/13 村上市観光振興計画管理委員会（斎藤事務局長）

3) 法人運営に関する活動

①理事会（11 回開催）

- H24/04/05 第 1 回（出席者 10 名 / 23 年度決算見込・24 年度事業見込等）
- H24/05/09 第 2 回（出席者 12 名 / 24 年度事業見込等）
- H24/06/07 第 3 回（出席者 12 名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H24/07/09 第 4 回（出席者 08 名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H24/08/06 第 5 回（出席者 08 名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H24/09/10 第 6 回（出席者 15 名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H24/10/09 第 7 回（出席者 07 名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H24/11/07 第 8 回（出席者 10 名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H24/12/12 第 9 回（出席者 10 名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H25/01/22 第 10 回（出席者 08 名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）
- H25/02/20 第 11 回（出席者 11 名 / 各事業進捗状況報告・各種依頼の検討）

②三役会議（4 回開催）

- H24/04/04（第 1 回）
- H24/04/23（第 2 回）
- H24/07/18（第 3 回）
- H24/10/23（第 4 回）

③部会

開催無し

II 平成 24 年度決算報告

平成24年度 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 活動計算書

平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日

科目・摘要	金額 (円)		増 減	備 考
	当初予算	決算額		
I 経常収益				
1. 受取会費	510,000	425,000	▲ 85,000	
正会員受取会費	90,000	150,000	60,000	
賛助会員受取会費	420,000	275,000	▲ 145,000	
2. 受取寄付金	50,000	126,800	76,800	
3. 受取助成金等	0	0	0	
4. 事業収益 (特定非営利活動に係る事業)	10,367,250	11,553,043	1,185,793	
①住民活動支援	0	0	0	詳細は別紙1内訳書参照
②CB/SB支援事業	0	0	0	
③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	6,700,000	7,510,365	810,365	
④地域づくり事業のコーディネート	350,000	3,356,028	3,006,028	
⑤商品開発支援事業	299,250	299,250	0	
⑥情報発信事業	0	0	0	
⑦講座・研修会の企画運営	0	0	0	
⑧講師派遣・視察受入	0	387,400	387,400	
⑨その他	3,018,000	0	▲ 3,018,000	
5. 事業収益 (その他事業)	70,000	8,340	▲ 61,660	
6. その他収益	0	978	978	
受取利息	0	829	829	
雑収入	0	149	149	
経常収益 計	10,997,250	12,114,161	1,116,911	
II 経常費用				
1. 事業費	8,630,000	10,009,246	1,379,246	
人件費	5,870,000	6,176,453	306,453	詳細は「財務諸表の注記」を参照
その他経費	2,760,000	3,832,793	1,072,793	
2. 管理費	2,367,250	2,221,486	▲ 145,764	
人件費	750,000	853,240	103,240	
給与手当	600,000	699,250	99,250	事務局職員 (パート)
法定福利費	150,000	141,815	▲ 8,185	社会保険料・児童手当拠出金等
福利厚生費	0	12,175	12,175	職員健康診断
その他経費	1,617,250	1,368,246	▲ 249,004	
外注費	310,000	270,000	▲ 40,000	HP管理業務・税理士決算業務
旅費交通費	680,000	523,470	▲ 156,530	役員交通費・職員業務移動交通費・事務局長交通費
理事会交通費	0	17,280	17,280	
事務用品費	5,000	10,991	5,991	
印刷費	100,000	131,040	31,040	名刺/封筒
通信費	150,000	86,680	▲ 63,320	電話代・メール便・切手他
使用料及び借料	14,000	7,000	▲ 7,000	総会会場使用料
広告宣伝費	5,250	10,250	5,000	
支払手数料	5,000	5,775	775	
接待交際費	15,000	0	▲ 15,000	
租税公課	10,000	7,700	▲ 2,300	契約用収入印紙
法人税・住民税及び事業税	70,000	70,160	160	
消費税納付額	195,000	162,300	▲ 32,700	
雑費	58,000	65,600	7,600	諸会費・協賛金
3. 予備費	0	0	0	
経常費用 計	10,997,250	12,230,732	1,233,482	
当期経常増減額	0	▲ 116,571		
III 経常外収益				
1. 固定資産売却益		0		
2. 過年度損益修正益		0		
経常外収益 計		0		
IV 経常外費用				
1. 固定資産除却損		0		
2. 過年度損益修正損		0		
経常外費用 計		0		
経理区分振替額		▲ 31,660		その他事業会計→特定非営利活動に係る事業会計
当期正味財産増減額	0	▲ 116,571		
前期繰越正味財産額	265,904	265,904	0	
次期繰越正味財産額	265,904	149,333	▲ 116,571	

別紙1 事業収益の内訳

種別	事業名	金額	備考
特定非営利活動に係る事業	地域ツーリズム開発・プロモーション事業		
	村上地域GT協議会事業	241,682	実費弁償：村上地域グリーン・ツーリズム協議会
	村上地域GT地域内受入実験事業（粟島Prog）	749,200	委託：村上地域振興局
	村上岩船地域・地域資源活用調査事業（林業Prog）	268,650	委託：村上地域振興局
	地域資源活用推進事業（村上夜学）	1,175,500	委託：村上地域振興局
	食と花の交流プログラム（新潟夜学）	141,000	自主：おとなの夜学・参加費収入
	朝日まほろば夢農園管理事業	1,375,400	委託：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合
	観光資源活用トータルプラン	1,050,000	委託：村上市観光協会
	酒蔵ツーリズム	531,300	委託：国交省北陸信越運輸局／（株）第一印刷所
	トキ×ミツバチ応援プロジェクト	764,299	実費弁償：トキ×ミツバチ応援プロジェクト
	カントリーカレッジ	1,213,334	実費弁償：つきさらカントリーカレッジ設立協議会
	地域づくり支援事業		
	学校と地域を結ぶオープンセッション	400,000	事業負担金
	たかねまちづくり協議会	80,000	委託：たかねまちづくり協議会
	あらかわ地区まちづくり協議会	668,400	委託：あらかわ地区まちづくり協議会
	越後下関地区 散策周遊コース整備事業	699,300	委託：村上地域振興局
	庄内・村上岩船地域広域連携事業	459,280	事業負担金
	新しい公共支援事業	959,048	委託：新しい公共にいがた会議
	地域づくりサポートマッチング事業	90,000	委託：新潟県NPO・地域づくり支援センター
		村上逸品発掘交流会	299,250
	情報発信事業	0	自主事業
	講師派遣・視察受入	387,400	
	東日本大震災復興支援	0	自主事業
	計	11,553,043	
その他	物販事業	8,340	自主：書籍（マチダス2011）販売
	計	8,340	

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、原価基準により評価方法は総平均法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業						その他の事業	事業部門計
	地域ソーリズム開発・プロモーション事業	地域づくり支援事業	商品開発支援事業	情報発信事業	講師派遣・視察受入	その他	物販事業	
(1) 人件費								
職員給料手当	4,221,696	1,010,304	132,000					5,364,000
臨時雇賃金	49,100	0						49,100
法定福利費	593,413	141,808	18,132					753,353
事業スタッフ報酬	0	10,000						10,000
人件費計	4,864,209	1,162,112	150,132					6,176,453
(2) その他経費								
外注費	67,600	89,000						156,600
謝金	72,100	64,000	60,000		115,000			311,100
旅費交通費	516,900	57,880	42,400			173,880		791,060
事務用品費	141,021	0						141,021
消耗品費	44,641	2,554					40,000	87,195
材料費	471,765	35,107						506,872
印刷費	402,390	46,231		56,400				505,021
会議費	74,242	68,200	1,840					144,282
接待交際費	6,800	0						6,800
通信費	479,007	28,230	7,840	115,380				630,457
使用料及び借料	240,221	0						240,221
水道光熱費	245,692	0						245,692
新聞図書費	24,000	0						24,000
支払手数料	630	1,470						2,100
租税公課	8,000	0						8,000
雑費	32,372	0						32,372
その他経費計	2,827,381	392,672	112,080	171,780	115,000	173,880	40,000	3,832,793
事業費計	7,691,590	1,554,784	262,212	171,780	115,000	173,880	40,000	10,009,246

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0	0	0	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	0	0	0
投資その他の資産						
出資金	10,000	0	0	10,000	0	10,000
合計	10,000	0	0	10,000	0	10,000

4. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	11,000,000		11,000,000	0
長期借入金		2,500,000		2,500,000
合計	11,000,000	2,500,000	11,000,000	2,500,000

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄付金	126,800	125,800
外注費	156,600	89,000
謝金	311,100	201,100
材料費	506,872	24,000
印刷費	505,021	20,000
雑費	32,372	9,000
活動計算書 計	1,638,765	468,900
(貸借対照表)		
長期借入金	2,500,000	2,500,000
貸借対照表 計	2,500,000	2,500,000

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

平成24年度 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産の部			短期借入金	0	
現金	193,092		長期借入金	2,500,000	
普通預金	2,560,837		預り金	108,534	
現金・預金 合計		2,753,929	未払金	826,562	
短期貸付金	0		未払法人税	70,000	
立替金	0		未払消費税	162,300	
未収金	1,052,800		負債の部 合計		3,667,396
流動資産 合計		1,052,800			
2 固定資産の部			III 正味財産の部		
出資金	10,000		前期繰越財産	265,904	
固定資産 合計		10,000	当期正味財産増減額	▲ 116,571	
			正味財産合計		149,333
資産合計		3,816,729	負債及び正味財産合計		3,816,729

平成24年度 財産目録

平成25年3月31日現在

科目		金額		
1. 資産の部				
1) 流動資産の部				
現金預金	現金	193,092		
	普通預金 (村上信用金庫本店)	2,541,650		
	普通預金 (新潟労働金庫村上支店)	19,187		
			2,753,929	
未収金	あさひまほろば夢農園 委託費	249,200		
	あさひまほろば夢農園 管理事業	53,000		
	酒蔵ツーリズム	531,300		
	地域活性化モデル事業	219,300		
			1,052,800	
出資金		10,000		
			10,000	
	流動資産の部 合計		3,816,729	
2) 固定資産の部				
	固定資産の部 合計	0	0	
	資産の部 合計			3,816,729
2. 負債の部				
1) 流動負債の部				
預り金	源泉税、雇用保険料、社会保険料	108,534		
			108,534	
長期借入金		2,500,000		
			2,500,000	
未払法人税		70,000		
未払消費税		162,300		
			232,300	
未払金	職員人件費(3月分)	529,550		
	職員交通費(3月業務移動分)	42,280		
	法定福利費	123,596		
	理事交通費	17,280		
	通信費(電話料.メール便代)	56,003		
	コピーカウンター料	26,722		
	リース料	18,217		
	水道光熱費	12,914		
			826,562	
	流動負債の部 合計			3,667,396
2) 固定負債の部				
	固定負債の部 合計	0	0	
	負債の部 合計			3,667,396
3. 正味財産の部				
				149,333

Ⅲ 平成24年度事業報告及び決算（概要）

平成24年度 事業報告

※本資料は、総会当日に使用したパワーポイントの要点を抜粋したものです。
事前に配付した資料のポイントや集計数値（資料未掲載）について説明しています。



特定非営利活動法人
都岐沙羅パートナーズセンター
つきざら
Iwafune, Niigata

1 住民活動支援

相談・問い合わせは、過去最低だった昨年度を更に下回る

平成24年度のセンター利用者数：581件／810人（前年比 +7件／+55人）

「相談・問い合わせ」の減少は、地域内における中間支援組織としての求心力低下を顕著に示していることから、抜本的な見直しが急務である。

2 コミュニティビジネス支援

24年度は財源確保ができず、直接的な支援活動は実施せず。

3 地域ツーリズムの開発・プロモーション

○旅行関連企業への営業（企画のプレゼン）

1回／参加企業 3社

- ・地域資源を活用した着地商品化の企画提案商談会

○プロモーションイベントの実施（イベント参加含む）

5回／イベント参加者 558名／地域内参画事業者 40団体

- ・ファームエイド銀座（2回）（地域内参画事業者：15団体）
- ・銀座新潟塾（ " " : 4団体）
- ・東京油田でのイベント（ " " : 3団体）
- ・新潟モノリスでの村上フェア（ " " : 18団体）

○プログラムの実験開催

11回／イベント参加者 200名／地域内参画事業者 11団体

- ・おとなの夜学&ランチ（地域内参画事業者：6団体）
- ・新潟・食と花の交流プログラム（ " " : 1団体）
- ・つきざらカントリーカレッジ（ " " : 4団体）



○モニターツアーの実施

4回／ツアー参加者 47名／地域内参画事業者 9団体

- 粟島受入実験 (地域内参画事業者：1団体)
- 林業体験プログラム (" : 2団体)
- 生産地訪問ツアー (" : 5団体)
- スノーシュープログラム (" : 1団体)

○朝日まほろば夢農園管理事業

夢農園年間利用者数 : 延べ465人 → 1区画あたり**平均25.8人**
交流イベント参加者数: 延べ183人 → 各回**平均30.5人**が参加

【地域ツーリズム関連の24年度実績】

事業を通じて生み出した**交流人口：1,453人**
地域内の**事業参画者：延べ60団体**

- 地元関係者向けの研修会の実施：3回／参加者65名
- 情報を整理した体験等のプログラム：29団体／130本
- 新たに開発したプログラム数：10本
- 酒蔵ツーリズムに関連して企画したプログラム：17本



4 地域づくり事業のコーディネート

○多様な主体が参加した交流機会の創出

3回／参加者216名

- ・学校と地域を結ぶオープンセッション：95名
- ・まちカフェ（2回）：121名

○地域内のまちづくり活動・事業への支援・協力

35回／19団体

- ・まちづくり協議会事業への支援（3協議会／18回）
- ・新たなまちづくり事業への支援（1事業体／6回）
- ・専門家派遣のコーディネート（5団体／6回）
- ・地域間交流事業のコーディネート（10団体／5回）



5 商品開発支援

○村上逸品発掘交流会事業

参加者：51名／出品団体：7団体



6 情報受発信事業

1) つきさらパートナーズプレス

【実績】

発行回数：4回

発行時期：H24年4月／H25年1月からは毎月

発行部数：H25年1月より1,000部



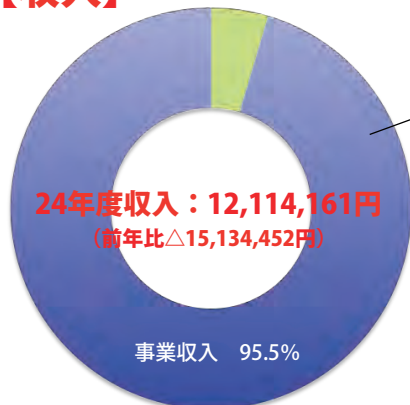
2) 週末観光情報の編集・情報提供

週末に村上岩船地域内に訪れる観光客を対象にした情報発信ツールとして、「週末観光情報」を作成し、地域内の観光施設や道の駅等に掲示してもらう。

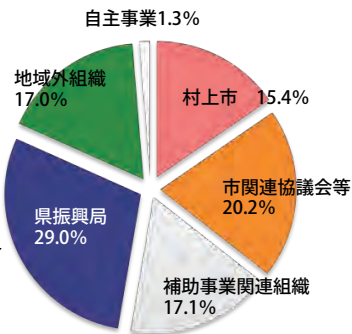
【実績】 発行回数：52回／配信先：24カ所

平成24年度決算

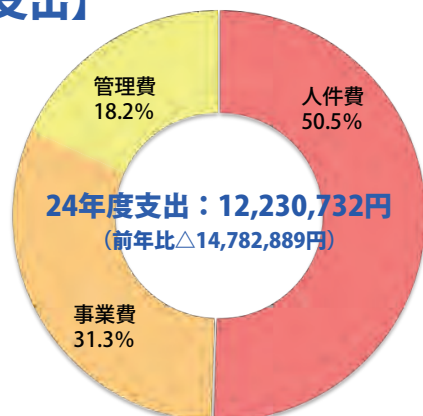
【収入】 会費・寄付金 4.5%



事業収入の内訳



【支出】



	【H23】		【H24】
会費・寄付金	523千円 (2%)	→	551千円 (4.5%)
事業収益	16,435千円 (60%)	→	11,562千円 (95.5%)
助成金	10,184千円 (37%)	→	0千円
その他	105千円 (1%)	→	1千円

当期収支差額 ▲116,571円
次年度繰越金 149,333円